今月の特集

中小企業のセキュリティ対策

偽セキュリティ警告に注意

（独立行政法人情報処理推進機構（IPA）・江島将和）

相談件数が増加　５月は過去最高に

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）では、一般的な情報セキュリティに関する技術的な相談窓口「情報セキュリティ安心相談窓口」を運用している。最近は、パソコンのブラウザ画面に表示される「偽セキュリティ警告（別名：サポート詐欺）」の手口に関する相談件数が継続して増加しており、月間相談件数が、2023年５月は過去最高の446件となった。一般ユーザーと比べると少ないものの、企業からも当該被害に関する相談が寄せられているので、注意していただきたい。

企業ではテレワークで従業員が自宅で業務用パソコンを使って仕事をする機会が増え、「偽セキュリティ警告」の手口に遭遇した際に、同僚、上司、システム管理者が近くにいないため、自分で解決しようとして被害が発生していることも要因の一つと思われる。表示された電話番号に電話をかけて、相手にパソコンを遠隔操作されると、パソコン内に機密情報や個人情報が保管されていた場合に、情報漏えい事故としての対応が必要になるかの判断や調査を迫られることとなる。

代金支払いへ誘導　情報漏えいの懸念も

偽セキュリティ警告の手口は、パソコンでインターネット閲覧中のブラウザ画面上に、本物に見せかけたセキュリティ警告が表示され、解決のために記載してある電話番号に電話をかけるように誘導されるというもの。電話をかけると、オペレーターにパソコンを遠隔操作され有償サポート契約と代金支払いへ誘導される。支払い手段はプリペイドカードを指定されるため、ほとんどの場合はコンビニエンスストアにそのカードを買いに行くように指示される。

一般ユーザーからの相談では、相手にプリペイドカードを何度も買いに行かされ、カードの番号を相手に伝えてしまった結果、被害額が数十万円になるケースを多く確認している。

一方、企業の場合は、パソコンを遠隔操作されたことで情報が漏えいしたのではないかという心配の相談が多くなっている。

安心相談窓口だより「会社や組織のパソコンにセキュリティ警告が出たら、管理者に連絡！」はこちら

手口の周知徹底・対応ルールづくりを

被害に遭わないための対策として、管理者は、社内で偽セキュリティ警告の手口について、周知や研修を行っていただきたい。その際はIPAの注意喚起などを参考にしてほしい。また、偽セキュリティ警告に限らず、パソコンに異常があった場合の対応ルールを定めて徹底していただきたい。特に、テレワーク時に発生した異常の連絡や、管理者の許可なく業務用のパソコンを第三者に遠隔操作をさせないことを徹底してほしい。

従業員は、パソコンにセキュリティ警告が出たら、対処を自分一人で判断せず、会社の対応ルールに従い、落ち着いてシステム管理者または上司に連絡していただきたい。冷静な対処が、ご自身、会社の情報資産を守ることにつながる。

また、画面に表示された電話番号に電話をしない、システム管理者または上司の許可なく相手からの遠隔操作の要求を許可しないでいただきたい。特に、パソコンの異常に対処するといったサポート名目の誘いに注意してほしい。

企業で偽セキュリティ警告に遭遇した相談事例や情報漏えいの有無の判断材料、従業員研修のための参考情報などはIPAのホームページで確認してほしい。

「警告画面が次々と全画面で開く」画面事例

新潟商工会議所 早期景気観測調査結果　８月分調査

経済活動は上昇傾向にあるも、エネルギー価格上昇や人手不足等で先行は悪化傾向

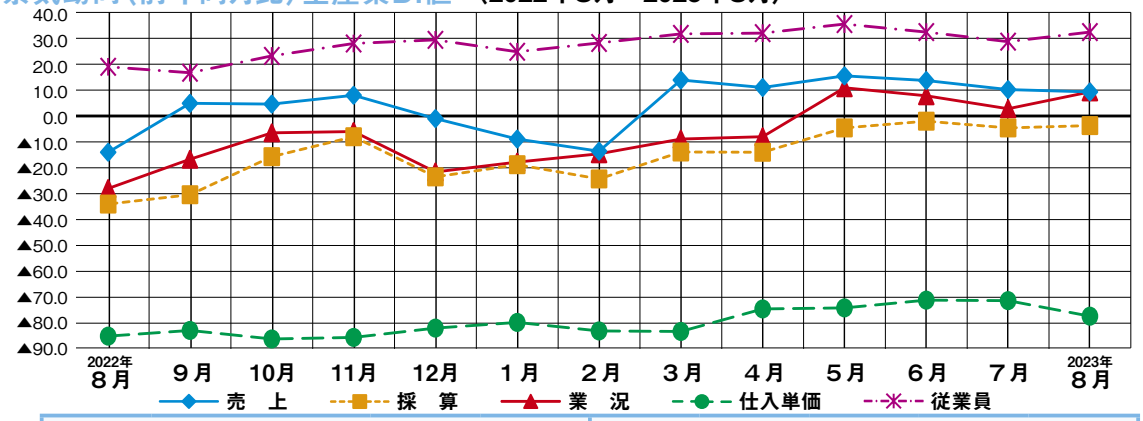
【８月の概要】

直近の景況感を示すDI値は、「業況」で6.5ポイント改善。「採算」については、若干改善したものの20か月連続でのマイナス水準となった。

また、先行き見通しを示すDI値は、「業況」以外の全項目で悪化した。特に「仕入単価」は前月比で13.9ポイント下落した。

コメントでは、経済活動が回復してきていることもあり、好調を示す回答も見られるものの、人件費等の経費高騰や人手不足が深刻との回答が引き続き多い。加えて、資材やエネルギーコスト高を指摘する声も多く、先行きを楽観視できない状況が続く。

景気動向（前年同月比）全産業DI値　（2022年８月～2023年８月）



	全産業平均DI値					向こう３か月間の先行き見通しDI値				
	売上(受注･出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員	売上(受注･出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
６月	13.7	▲2.0	7.8	▲71.1	32.4	15.7	1.0	▲4.9	▲46.1	32.4
７月	10.2	▲4.6	2.8	▲71.3	28.7	16.7	11.1	2.8	▲34.3	32.4
８月	9.3	▲3.7	9.3	▲77.3	32.4	15.7	6.5	9.3	▲48.2	36.1

晴れ（30≦DI）　曇りのち晴れ（15≦DI＜30）　曇り（0≦DI＜15）　曇りのち雨（▲20≦DI＜0）　雨（DI＜▲20）

建設業	コロナの影響も無くなってきており、今後徐々に売上や収益は増加していくと思われる。**（電機）**
	以前より資材価格の高騰は部分的になっているが、人件費の高騰は続いている。**（ゼネコン）**
製造業	人件費や仕入価格の上昇により、前年比で採算が悪化している。販売価格への転嫁を図る必要がある。**（建設鋼材）**
	イベントの開催や外食・観光業の需要が増加するものの、人手不足により生産が追い付かない状況である。**（製菓）**
卸売業	連日の真夏日により、収穫量の減少、品質の悪化、正品率の低下の傾向が見られる。**（青果）**
	売上がコロナ前の水準に戻らず、経費だけが増加している。どうにかして黒字になる方法を模索したい。**（調理器具）**
小売業	夏物関連商材やレジャー用品の販売が好調に推移している。**（ホームセンター）**
サービス業	酷暑のため利用頻度が多いが、業界全体に人手不足が目立っている。**（タクシー）**
	業績は好調に推移しているが、エネルギー価格上昇や人手不足等の経営課題は多い。**（警備）**
	客数はコロナ以前に戻りつつあるものの、人員不足が問題である。**（ホテル）**

工場・倉庫・HACCP 対応食品工場の建築おまかせください！！

cosmo コスモ建設株式会社
システム建築事業部

コスモ建設㈱
で検索

プラン図 概算見積 無料

〒950-0983　新潟市中央区神道寺 2-2-25
TEL：025-245-7111　FAX：025-245-7119
メールアドレス：info@cosmo-k-co.com

※日鉄物産システム建築㈱の施工会員です。